児童発達支援　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月10日

事業所名：多機能型事業所 つばめ療育館 親子館　　保護者等数（児童数）22名（22名）、 回収数18名、 割合 81.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3			・参加されるお子さんが多い日は、少し手狭な時もありますが、使うスペースを工夫されている印象です。 ・欠席者が数人いる日はいいが、5人以上でリズムなどの活動する際は、狭くて動きにくい気がする。朝の会も、隣同士が密な気がしていた。	・1日で多い日は8組となります。ご意見のとおり、少し狭いと感じられるのも理解できます。支援室の隣の遊具庫スペースを整理し、少しでも支援に使用できるように工夫しました。 ・午後2時からは放課後等デイサービスとし、合わせて10名が定員となるため、親子療育で無理のない最大利用人数を定めることにします。 ・0歳からの早期療育を掲げ、入園年齢である3歳には、療育を卒業できるということが理想です。実現すれば、支援スペースは適切と考えます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1				・職員の休暇等で若干手薄になることがあります。補充できる職員体制の確保に努めます。 ・保健師である発達支援コンサルタントから定期的に専門的な評価を行い、併せて技能訓練担当職員（作業療法士等）が中心になって、個々の課題に沿った支援を提供しています。 ・当事業所の特徴として「親や祖母からわが子に直接支援」を原則としています。これにより、事業所と家庭とが改善目標に向かって一体的に取り組むことが可能になります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18					・玄関から支援室まで段差はなく、トイレを含めバリフリー化しています。 ・個別課題の時には、間仕切りで個別の空間を作って行います。
環境・体制整備	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	1			・子どもが気になるものが、置かれていないため、集中して取り組める空間になっていると思います。 ・時々、手洗い場のハンドソープの補充が間に合ってないように感じます。	・専門の用具室を設け、随時必要な用具の出し入れを迅速に行って集中力の維持等に努めています。 ・支援室、お昼寝室、保護者休憩室には、空気清浄機を設置しています。 ・トイレ清掃は毎日行っていますが、一日中清潔に保てるように注意を払っていきます。

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18				・子どもの気がかりに気付いてくださり、親に聞き取りや連絡帳でのやり取りでの、課題を基に計画が作成されています。	・契約時やモニタリング時等でニーズや課題をお聞きし、当事業所の児童発達支援計画に反映させるように努めています。 ・改善が見られない課題は、日々の振り返りで検証し、変更するようにしています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17			1		・原則、ガイドラインに沿った児童発達支援計画書の支援内容にしています。 ・発達障害医学の視点で、より専門性を追求した支援を目指しています。 ・ご説明時に、確認のために控えをお渡ししています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18				・計画にある目標に沿って、課題が設定されています。	・担当する職員は、児童発達支援計画の達成目標を熟知し、日々のサービスを提供しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	3			・同じ課題でも、目標を変えたりすることで、親としては、取り組む際のイメージを持ちやすいです。	・利用者の年齢や能力に応じた個別支援に心がけています。 ・具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 ・個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	4	7	・保育所に通っているので、健常の子との関わりも十分あると思います。 ・親子館では、交流がないようなので、何とも言えず・・・。これから、あるといいなと思います。	・サービス担当者会議等で保育所や幼稚園に伺って状況共有をさせていただいています。 ・個人差はありますが、障害のない子どもとの交流については、現利用者の現況等で判断すると、必要性を感じていません。 ・社会性の前に自立力向上の課題が優先すると考えています。たとえば、散歩で公園等に出掛け、そこに来ている子どもたちと自然な形で触れ合うことができるような場面などから取り入れていければと考えます。
	⑩	運動（感覚統合）は安全面に配慮された上で楽しく活動でき、かつ身体機能が改善されたか	15	3			・本人の今出来ることを、先生方が把握されているので、それに合わせた課題が行われ、安全だと思います。身体機能は、少しずつ改善されていると思います。	・活動に必要な専門遊具を使用することのリスクを想定し事故防止に努めています。 ・「順番を守る」「利用者の特性に応じる未然防止体制」「遊具の出し入れによる安全スペースの確保」等、徹底して安全面を重視しています。 ・「始まりの会」「身体調和支援（マッサージ）」「運動課題」「個別課題」「お帰りの会」と流れていきます。運動課題（感覚統合）は、土台となる身体を調和した後に行い、必要な感覚を獲得しやすくなる等の改善効果を高めています。実績として、改善ケースが増えてきています。

適切な支援の提供	⑪	机上課題はその子どもに見合った内容で用意され、楽しく意欲的に取り組めているか	14	4			・見合った内容を用意してもらっていると思います。楽しく意欲的に取り組めるよう、もう少し慣れたらいいのかなと思います。 ・本人の集中力が長く維持出来れば、もっといいと思います。	・利用者の年齢や能力に応じた机上課題に心がけています。 ・具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 ・個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。
	⑫	身体調和支援（マッサージ）で子どもの変化が見られているか	12	1	2	3	・比較は出来ませんが、身体、手指が良く動くようになりました。 ・姿勢が良くなり、運動機能面でも改善が見られます。 ・緊張が、少なくなったと思います。 ・最初は泣いていましたが、いつの間にかリラックスして取り組めています。 ・首周りを丁寧にすると、首が出る気がする。 ・1つ1つのマッサージが、身体のどんな部分にどういった効果があるのかを、教えてもらいながら、マッサージ出来ると良いなと思います（特に初めての人）	・新規の利用者には、身体調和支援（マッサージ）を指導できる職員が、手順書を活用しながら丁寧に指導しています。 ・身体調和支援の詳細が書かれている市販本も紹介しています。 ・身体調和支援により、発達の土台となる生活しやすい身体づくりを行っています。これは、運動課題（感覚統合）、個別課題の改善効果を高めることに繋がります。繰り返すことで脳の発達を促し、運動機能、認知・言語機能、社会性の改善を目指しています。
保護者への説明等	⑬	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17			1		・見学時や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っています。 ・事業所内でいつでも閲覧いただけるように、掲示しています。
	⑭	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18				・個別で丁寧に話を聞いて下さり、計画の説明をしてもらっています。	・ガイドラインに基づく支援内容を設定しています。
	⑮	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	4		1	・日々の困りごとや色々な相談を、連絡帳などを通じて伝えることで、先生方から声をかけてもらい、多角的なアドバイスをもらっています。 ・先生方の接し方やアドバイスなど、参考にさせて頂いてます。	・親子館では、実際に保護者が利用者に付いて療育されているので、適宜現状や適切な支援方法をお伝えし、自宅の生活でも生かせるよう配慮しています。 ・利用時に同行いただける保護者には、身体調和支援（マッサージ）や食事の仕方、家でもできる運動などの指導に努めています。 ・同種の課題のある利用者の保護者を対象に、発達支援コンサルタントを講師とする定期的な勉強会を計画しています。 ・保護者の休憩時間（お昼寝時）に、随時職員からお伝えするようにしていますし、いつでも気軽にお声かけくださいと周知しています。

保護者への説明等	⑯	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	1				・お昼寝の時間帯に双方の相談や連絡ができるように配慮しています。 ・保護者とは、HUGマイページ、連絡帳、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。	
	⑰	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		1	・個別で、時間を取って面談のように、話を聞いてもらっています。	・モニタリング時等で保護者からお悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。 ・必要な場合は、発達支援コンサルタントの助言をもらえる場を設定しています。	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	6	4	5	・そういった活動があるのであれば、支援してもらいたい。	・特に父母の会や保護者会等の開催はありません。 ・当事業所は、保護者の休憩時間（お昼寝時）が、自然発生的なピュアカウンセリング効果を生み出しているように感じます。	無回答1
	⑲	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16			2	・相談すると、すぐに対応してくれています。	・保護者からの相談や申し入れに対しては、個人で判断せず、チームでの方針をアドバイスすることを原則としています。速やかに事業所内で検討して対応しています。 ・モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。	
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					・保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。 ・利用者には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。	
保護者への説明等	㉑	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	4		2		・毎月の会報「おたより」や保護者のHUGマイページを活用し、近々の情報をお伝えしています。 ・ホームページで講演会の開催などを発信しています。	無回答1
	㉒	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17			1		・個人情報取扱規程に基づき、施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。	

非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	3	4	7	・マニュアルというか、どうするべきかの説明は、なされていますが、訓練がどのように行われているのかは、良く分かっていません。	・マニュアルは作成していますが、保護者に対しては、マニュアルを特に周知はしていません。 ・所内に要点の掲示やマニュアルを閲覧できるようにしています。	
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	3	4	6	・マニュアルというか、どうするべきかの説明は、なされていますが、訓練がどのように行われているのかは、良く分かっていません。 ・園で月1行われている避難訓練が、ほぼ金曜で療育の日と被り、数える程しか訓練していないので、親子館でも訓練の機会があるとありがたいです。	・年2回、地震、火災に対する避難訓練を、隣接のつばめ療育館と同時に実施しています。	無回答1
満足度	㉕	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3		1	・朝の挨拶など、家でもやってるのですが、楽しそうに一緒にやってくれます。ちゃんと伝わっていて、嬉しいです。	・まずは、嫌がらないでご利用いただくことからと考えています。ただし、発達支援プログラムには、自立力の向上を目的とする意味合いが込められているため、「楽しんで…」が目的ではないと捉えています。 ・保護者との相互理解の下で、共に「やりがい」を感じながら通所いただきたいと思います。	
	㉖	事業所の支援に満足しているか	16	2			・いつも子どもをあたたかく迎えていただき、ありがとうございます。親自身が気づいてもらい、アドバイスいただけて助かってます。 ・これからも、続けていってくだされば と思っています。いつもありがとうございます。 ・いつも親子共々、楽しんで通っています、ありがとうございます。通い始めて、5カ月で「わからない」という、選択肢にたくさん〇が付きましたが、いつも丁寧に見ていただき、大満足です。連絡帳に書いていただくメッセージも、宝物です。 ・正直「療育」という世界が全く分からなくて、私自身、日々教えてもらうことが多いので、支援に不満なく過ごしています。本当にいつも有難うございます。 ・通う園の方針で毎回早退し、個別課題が受けられないのが残念です。午前中の活動・支援には、満足しています。 ・とても満足しています。	・大半のご利用者から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、利用者の「改善」の積み重ねと認識しています。 ・発達支援は、園や学校で普通に集団活動などができるように自立力を向上させるサービスだと言えます。 ・「障害を負わない」ための予防サービスでもあり、早期発見・早期支援の実現が重要です。医療、保健、保育、教育と発達支援事業所が、役割を認め合い真の連携を果たすためにも、質の向上は命題と考えています。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。